慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	2012
Jtitle	新版 窮理図解 No.10 (2012. 7) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000010-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の本棚

My favorite books

● スピントロニクス―次世代メモリ MRAM の基礎　スピントロニクス（スピンエレクトロニクス）という新技術をわかりやすく解説した本。難しい式があまり出てこないので、高校生でもこの新しい研究分野の雰囲気を味わうことができると思います。

● （番外①）動物のお医者さん　描かれている大学の研究室と、学生時代の研究室の雰囲気（特に指導教員の雰囲気）がそっくり。ドキュメンタリーに近いかも。世の中はこんな研究室ばかりだと思っていましたが、決してそうではないことが卒業後にわかりました。

● （番外②）聖飢魔 II の解散黒ミサ（コンサート）の DVD　デーモン小暮閣下率いるバンド、聖飢魔 II が 1999 年 12 月に行った解散黒ミサを完全収録した DVD。学生時代から閣下の信者（ファン）で、オールナイトニッポンは欠かさず聴いていました。おかげで火曜日の朝は必ず寝不足でした。いまでも気分転換によく見ています。家族には良さが理解できないようですが…。

● 本多光太郎傳　「鉄」の神様と呼ばれた本多先生の伝記。ある先輩から「研究室運営の参考になるからぜひ読むように!」と貸していただきました。日本における磁気学の黎明期、本多先生が磁性研究をリードしながら多くの後進を育てた過程が描かれています。未知の世界を拓く実験に努力を惜しまず、近道をせず、正道を歩む姿勢に感銘を受けました。研究者を目指す学生にはぜひ読んでもらいたいです。「人間磁気」と呼ばれた本多先生のような魅力あふれる人間性を身につけたいですね。

● スピンはめぐる　磁石の源である電子スピンが発見された経緯が書かれた本。後にノーベル賞を受賞するパウリ、ディラック、ハイゼンベルグなどの天才たちが原子の内部構造の解明に立ち向かった様子が、生き生きと描かれています。「スピンは電子の自転」という相対論的に矛盾する仮定が論文として発表された経緯など面白いエピソードがたくさん載っています。

● Spin Dynamics in Confined Magnetic Structures I ～ III　私の専門である「スピンダイナミクス」の最近のトピックスが丁寧にまとめられているシリーズです。ギガヘルツからテラヘルツ帯の高速なスピン運動を、周波数領域・時間領域で測定する新しい技術が紹介されています。

● 物理数学の直観的方法　九州大学で初めて講義を担当した際、「電磁気学は超不人気科目で、数学的技法がハードルとなって単位を落とす学生が多い」と聞いていました。ベクトル解析やフーリエ解析、テーラー展開などの教え方に悩んでいたとき、隣の研究室の教授から紹介してもらった本です。丸暗記していた公式がどのような意味を持っていたのかを改めて理解でき、「目から鱗」でした。数学の迷路に迷い込んでいる学生は必読。

● 磁気工学の基礎・強磁性体の物理　磁性物理学の初学者にとって、バイブル的な教科書。研究室に配属された 4 年生には、まずこの教科書を勉強してもらいます。物質の磁性を学ぶには、量子力学、統計力学、電磁気学の複合的な知識が必要なのですが、とてもわかりやすく説明されています。